

平成27年10月31日、市民や岡山を訪れる皆さんに、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川に親しんで頂くとともに、「かわ」と「まち」づくりについて一緒に考えることを目的とした「ミズベリング岡山旭川」を開催しました。天候にも恵まれ青空の下、「桜の植樹・オープニングイベント」「旭川かわまちウォーク」「カヌー体験」「石山公園イベント」「ワークショップ」などの様々なイベントに多くの方に参加していただき、水辺のもつ魅力を身近に感じていただきました。

[日時]：H27年10月31日（土）10：00～16：00

[場所]：岡山城・岡山後楽園周辺の旭川、石山公園
旧内山下小学校（ワークショップ）

[内容]：オープニングイベント（参加者：約100名）
旭川かわまちウォーク（参加者：77名）
カヌー体験（参加者：42名）
ワークショップ（参加者：59名）
石山公園（パークマーケット）



桜の植樹・オープニングイベント



旭川かわまちウォーク



ミズベリングとは、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクトです。

※ミズベリングは、「水辺+RING（輪）」、「水辺+R（リノベーション）+ING（進行形）」の造語です。

カヌー体験



石山公園イベント



ワークショップ



主催：ミズベリング岡山旭川実行委員会

岡山市/岡山大学/岡山商工会議所/岡山県/国土交通省岡山河川事務所/NPO法人ENNOVA OKAYAMA/
岡山カヌークラブ/(公財)岡山市公園協会/(公社)おかやま観光コンベンション協会

後援：旭川南部漁業協同組合連合会

桜の植樹・オープニングイベント

オープニングイベントでは、大森雅夫岡山市長をはじめ、逢沢一郎衆議院議員、山下貴司衆議院議員にもご臨席を賜り、旭川さくらみちで約60年ぶりとなる桜の記念植樹を関係者一同で行いました。



逢沢寛人実行委員長 開会挨拶



オープニングイベント参加者



記念コースター



藤兼岡山河川事務所長 旭川さくらみち説明



大森雅夫岡山市長 記念植樹



H27.4 岡山さくらカーニバルの様子

旭川かわまちウォーク

旭川かわまちウォークでは、参加者の皆さんに、旭川の魅力を再発見し、水辺の活用の可能性について考えていただくため、Aコース、Bコースに分かれて、旭川周辺のチェックポイント（各コース6箇所）を周りながら散策していただきました。旭川の水辺を直接見て、感じていただき、午後からのワークショップにも参加された方からは、様々なアイデアを提案していただきました。



旭川かわまちウォークの様子



ミズベリング岡山旭川
旭川かわまちウォーク

チェックポイント A1 浜樋門・旭川さくらみち



万治4年(1661)作成の「上道部図」は、百間川や後楽園築庭前の旭川平野の状況を表しています。

赤点線の辺りに現在の浜樋門(はまひもん)があり、この川で新野郡と上道郡に分かれていました。

旭川さくらみち

「旭川さくらみち」(右側の区画)の桜は、昭和30年代前半に植栽され、50年以上が経過し老朽化が顕著となっています。「旭川さくらみちの桜を守る会」が設立され、募金による延命治療等が行われていますが、根本的には計画的な植栽替えが必要です。

平成26年度から、老朽化した桜の植栽替えや保全ができるように、撤廃工事が実施されています。また、歩行空間の確保も今後行われる予定です。

チェックポイントのパネルの一例

カヌー体験

水辺のアクティビティとして、カヌー体験をとおして、旭川の水面の魅力を感じていただきました。参加者の皆さんからは、「とても楽しい」「またやりたい」などの感想をいただきました。また、石山公園イベントに訪れた皆さんも、旭川の水面がにぎわう様子を楽しそうに眺められていました。



カヌー体験受付



岡山カヌークラブさんが親切にレクチャー



水面のにぎわいの様子



岡山城が目の前に！最高のロケーション

石山公園イベント

石山公園では、フルーツパフェ、カレー、オープンカフェに加え、飲食、クラフト&マーケットなどが出店した「後楽の森と川パークマーケット」（出店数、約40店）が併せて開催されました。訪れた皆さんには、石山公園、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川の広々とした開放的な空間を楽しみながら満喫していただきました。



パークマーケットの様子



出店（フルーツパフェ）



オープンカフェ（岡山市 社会実験）



石山公園の様子



ミズベリングブース



水辺の回廊の様子

ワークショップは、「トークセッション」と「ワークショップ」の2部構成で開催しました。トークセッションでは、様々な分野のゲストスピーカーから、ミズベリングプロジェクトの概要、パブリック（公共）の考え方、旭川の持つ生物多様性、全国の水辺の活用事例などが紹介されました。

会場には、廃校を活用して地域のコミュニティの場を再生する活動を実施中の旧内山下小学校で開催しました。どこか懐かしい雰囲気があり、皆さんで考える場として最適な空間でした！



旧内山下小学校



会場の様子



大森雅夫岡山市長 開会挨拶



トークセッション



ゲストスピーカー

トークセッション『水辺利用の先進事例や新たな可能性を語る』

【ゲストスピーカー】（左の写真 左側から）

- 山名 清隆（ミズベリング・プロジェクト プロデューサー）
- 中井 祐（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授）
- 荒木 勝（岡山大学地域総合研究センター センター長）
- 田中 里佳（国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐）

ワークショップでは、旭川と岡山城・後楽園周辺のかわづくり・まちづくりについて考えていただきました。「集う・憩う・楽しむためのアイデア」を共通テーマとして、水辺への緩やかなスロープの設置、ももボートで通勤、巨大な桃を浮かべる、屋形船などの舟運、ベンチ、オープンカフェなどの休憩場所を設ける、ライトアップイベントなど様々なアイデアを頂きました。



自由なアイデアの創出！そして共有！

逢澤寛人実行委員長 閉会挨拶



ミズベリング岡山旭川 集合写真



新たに生まれたアイデア

平成27年10月30日（ミズベリング岡山旭川開催前日）、ミズベリング岡山旭川の会場周辺において、プレー斉清掃を実施しました。プレー斉清掃は、ミズベリング岡山旭川実行委員会および関係者、約20名に協力をいただき、1時間程度、清掃活動とともに、会場、コースの状況確認を行いました。清掃により回収されたゴミは、空き缶、空き瓶、ペットボトルなど、約10袋分となりました。

実施内容

[日 時] : H27年10月30日 13:30~14:30

[集合場所] : オープニングイベント会場

[清掃場所] : オープニングイベント会場、
旭川かわまちウォークコース、
石山公園、カヌー体験会場

[参加人数] : 約20名



プレー斉清掃の説明の様子



清掃の様子（水辺の回廊）



清掃の様子



清掃により回収したゴミ

イベント後も快適な河川空間が維持できるよう、ミズベリング岡山旭川当日も、旭川かわまちウォーク終了後、石山公園イベント終了後において、関係者で協力して会場周辺を清掃しました。